

認知症介護基礎研修シラバス

科目名	認知症の人の理解と対応の基本	研修形態と講義時間：	eラーニング学習 (150分～)
目的	認知症の人を取り巻く現状、病状に関する基礎的な知識を学び、認知症ケアの基礎的な技術に関する知識とそれらを踏まえた実際の対応方法を身に着ける。		
到達目標	1. 認知症の人を取り巻く現状について把握し、概要を説明できる。 2. 具体的なケアを提供する時の判断基準となる考え方を理解し、説明や例示ができる。 3. 認知症の人を理解するために必要な基礎的な知識を身に付け、症状や影響要因等について具体的な例示ができる。 4. 認知症の人との基本的なコミュニケーションの方法、不適切なケアやその回避方法、行動・心理症状(BPSD)を理解したケアの方法等、認知症ケアの基礎的な技術に関する知識を身に付け、具体的な例示ができる。		
概要	認知症ケアの実践に必要な基礎的事項について解説動画の視聴によって学習を進め、学習状況を確認し理解を深めるため「到達目標」に挙げた1～4について、学習内容に関する確認テスト等に取り組む。また、認知症ケアの基本的な実践方法について具体的な事例動画を題材に、背景や具体的な根拠、ケアやコミュニケーションの方法に関する課題に取り組み、解説講義の動画を視聴し理解を深める。		
内 容		備 考	
1. 認知症の人を取り巻く現状 2. 具体的なケアを提供する時の判断基準となる考え方 3. 認知症の人を理解するために必要な基礎的な知識 4. 認知症ケアの基礎的な技術に関する知識と実践上の留意点	認知症施策の動向について主要な事項を理解する。 (含：認知症施策推進大綱) ケアの基礎となる考え方を理解し、偏見の解消や意思決定支援の必要性など基礎となる知識を得る。 1) 認知症ケアにおいて基礎となる理念や考え方(パーソン・センタード・ケア等) 2) 本人の視点からみた尊厳の保持の重要性 3) 認知症の人への偏見や誤解とその解消 4) 日常生活・社会生活における意思決定支援とは 認知症の症状と生活や心理への影響、症状出現に影響する要因について学ぶ。 1) 認知症の定義、有病率、原因疾患別の特徴や割合、主な中核症状の特徴と行動・心理症状(BPSD)に関する基礎的な知識 2) 中核症状の生活への影響と心理 3) 中核症状、環境要因等の影響要因、本人の心理との関係による、行動・心理症状(BPSD)のとらえ方と出現原因 4) 認知症の人にとっての環境の重要性 5) 健康管理や廃用症候群の予防の重要性 チームケアの観点を含めた基礎的な認知症ケアの方法や家族介護者への支援方法を理解する。 1) 認知症の治療の概要 2) 認知症の人との適切な関わり方 (1) 認知症の人との基本的なコミュニケーションの方法 (2) 不適切なケアの理解と回避方法 3) 認知症の症状への対応 (1) 病態・症状等を理解したケアの選択 (2) 行動・心理症状(BPSD)を理解したケアの選択と工夫 4) 意思決定を尊重する支援の方法 5) チームケアの基本と情報共有 6) 家族介護者の理解と支援方法	・確認テスト及び解説等の方法で、内容ごとに学習事項を振り返り、要点整理を行う。 ・本人主体のケアに必要な考え方や知識が習得できるようにする。 ・認知症の定義や原因疾患別の特徴などの知識だけに留まらず、具体的なケアの方法、症状が生活や心理にどのような影響を与えるのかを理解できるようにする ・2) 3) は具体的な事例動画を題材に症状の背景や根拠、具体的なコミュニケーションやケアの方法に関する課題に取り組み解説を通して能動的に理解できるようにする	